

泌尿器科学講座



准教授

成田 充弘

2014年7月1日付けで泌尿器科学講座の准教授を拝命いたしました。私は大阪市の出身で、高校卒業後2年間の浪人生活を経て滋賀医科大学に入学しました。それ以来今日までほぼ滋賀県に在住しており、生まれ育った大阪より滋賀での生活の方が10年以上も長くなり、今では完全に滋賀県人と化しています。

当時の滋賀医大は古き良き?時代、言い換えれば放任主義、すなわちほったらかしの時代であり、授業にもあまり出席せず、所属していた準硬式野球部で練習・試合に明け暮れていたように思い出されます。

1989年に滋賀医科大学を卒業後、決定的な理由はなぜか思い出せないのですが、友吉唯夫名誉教授の系統講義にわずかししか出席していないにもかかわらず、泌尿器科学講座に入局しました。その年は他大学からの入局者もあり、5人が入局した夢のような時代なのですが、その内1人は麻酔科にローテーターとして半年間研修することとなり、ジャンケンの結果私が最初に麻酔科にお世話になりました。泌尿器科より先にまさに全身管理である麻酔科で研修できたことは、臨床医としての大きな糧となりました。

その後、泌尿器科に戻り今日まで臨床を中心と

して仕事をしてきましたが、研修医時代は尿路結石に対する開放手術が内視鏡手術や体外衝撃波破碎に移行した時期で、現在の主流である低侵襲手術が走り出した時代でした。現在私が専門としている腹腔鏡下手術が卒後10年ぐらいの時から普及し始め、私が大学に戻る少し前の今から13-4年ぐらい前から滋賀医大でも本格的に導入を開始し、私自身うまくその流れに乗ることができました。2005年から始まった泌尿器腹腔鏡技術認定制度ですが、岡田裕作前教授のご配慮もあり、2007年に学内講師の影山進先生と一緒に滋賀医大最初の認定医をいただくことができました。それ以後は毎年着実に合格者を輩出することができております。昨年、その認定制度の核審査員である河内明宏教授がご就任されたことで、今後の若手医師にとってはよりよい技術認定に向けての研修体制が確立されたと考えております。

そして、次の波としてda Vinci surgical systemによるロボット支援手術の導入が始まりました。2011年に関連病院である宇治徳洲会病院での導入が決定し、好運にもそれに中心的に携わることになりました。2012年4月には前立腺癌に対するロボット支援前立腺全摘除術が保険収載となり、順調に症例数を重ねることができました。昨年5月に滋賀医大でも導入されましたが、それまでの経験をうまく生かすことで、導入初期から安定した成績で滑り出すことができ、巡り合わせのよさを感じています。河内教授ご就任後は病院執行部の多大なご協力のおかげもあり、先進医療を目指した腎部分切除術や膀胱全摘除術にも適応を広めています。

以上、時代の流れや巡り合わせなどの運に恵まれた経歴だと感謝していますが、それらを少しでも生かすべく、今後の私に与えられた使命は、安全かつ低侵襲な治療をクオリティ高く提供できるように研鑽を重ねていくことと、それを次世代にうまく継承していくことだと考えています。皆様には今後とも暖かいご指導ご支援をいただければ幸いです。よろしくお申し上げます。

経歴

1989年 3月 滋賀医科大学医学部卒業
 1989年 6月 滋賀医科大学附属病院 研修医(泌尿器科)
 1991年 1月 弥栄町国民健康保険病院 泌尿器科医員
 1993年 4月 京都武田病院 泌尿器科医長
 1994年 4月 滋賀医科大学 泌尿器科 助手

1996年 4月 社会保険滋賀病院 泌尿器科医長
 2003年 4月 滋賀医科大学 泌尿器科 助手
 2006年 3月 滋賀医科大学 泌尿器科 講師
 2011年 7月 滋賀医科大学 附属病院 病院教授
 2014年 7月 滋賀医科大学 泌尿器科 准教授